



学校法人  
芝浦工業大学  
概要 2020

INCORPORATED  
EDUCATIONAL  
INSTITUTION  
GUIDE



学校法人  
 芝浦工業大學  
SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY  
Established 1927



建学の精神

# 社会に学び、社会に貢献する 技術者の育成

芝浦工業大学の源は、1927(昭和2)年、創立者有元史郎が創設した東京高等工商学校です。有元史郎が唱えたのは「現代文化の諸相を教材とし、社会的活動の意義を体得する教育」でした。この実学主義の教育により、実用的な知識と技術を併せ持ち技術立国を担う技術者、さらに高い倫理観と豊かな見識を備えた優れた技術者の育成に取り組み、社会の進歩発展に貢献してきました。これからも芝浦工業大学は、日本だけでなく海外との交流を通じて広く世界に学び、国際社会に貢献する大学としてグローバルな教育・研究力を発揮し、社会の期待に応えていきます。



創立者

有元 史郎

(1896—1938)

有元史郎は、1923(大正12)年、苦学の末に東京帝国大学(現 東京大学)工学部機械工学科を卒業。引き続き同大学経済学部に入學して経済学を学びました。向学心が強く、工学、経済学のほかにも、法学、文学、商学を修め、合わせて5つの学士号を取得しました。弱冠30歳、東京帝国大学の大学院生のときに東京高等工商学校を創立し、芝浦工業大学の礎を築きました。



## 校章

芝浦工業大学の伝統の地、芝浦は東京湾岸に位置します。学生たちは、海から潮の香届く校舎に学びました。

1949(昭和24)年、新制大学となったときに制定された芝浦工業大学の校章は、中心に据えた大文字「大学」の下支えに波動を配したものです。立地に恵まれて躍動、発展する工業大学の息吹を表現したデザインです。

考案したのは、波形が初代学長を務めた松縄信太(元理事長)、大学の字体が事務局長であった三浦元秀(元理事長)。二人の合作です。

## 沿革

学校法人 芝浦工業大学

1910 1920 1930 1940 1950 1960

**1927** ▶ 昭和2年

東京府在原郡大森町に東京高等工商学校設立(創立者 有元史郎)。その後、芝区(現港区)芝浦町に移転



東京高等工商学校 建築工学科 1期生授業風景(1929年)



1931年頃 電気工学科 電気実験

**1951** ▶ 昭和26年

学校法人芝浦学園に組織変更

**1953** ▶ 昭和28年

学校法人鉄道育英会を吸収合併。東京育英高等学校(現芝浦工業大学附属高等学校)の経営を継承



1970年代後半 芝浦校舎正面

**1943** ▶ 昭和18年

財団法人東京高等工学校を設立(3月)  
財団法人芝浦学園と名称変更(10月)

**1962** ▶ 昭和37年

学校法人芝浦工業大学と名称変更

**1980** ▶ 昭和55年

芝浦工業大学柏高等学校設置

**1949** ▶ 昭和24年

芝浦工業大学を設置、工学部機械工学科、土木工学科を開設

**1963** ▶ 昭和38年

大学院工学研究科修士課程を開設、電気工学専攻(現電気電子情報工学専攻)、金属工学専攻(現材料工学専攻)、工業化学専攻(現応用化学専攻)を開設

**1982** ▶ 昭和57年

芝浦工業大学高等学校を東京都板橋区に移転し、同時に中学校を設置

**1950** ▶ 昭和25年

芝浦工業短期大学を設置(その後、1983(昭和58)年に廃止)

**1966** ▶ 昭和41年

埼玉県大宮市(現さいたま市)に大宮キャンパス竣工

**1991** ▶ 平成3年

システム工学部を開設、3学科を開設

芝浦工業大学

学長 村上 雅人

◆ 工学部

学部長 山田 純

- 機械工学科
- 材料工学科
- 電気工学科
- 情報通信工学科
- 土木工学科
- 建築工学科
- 機械機能工学科
- 応用化学科
- 電子工学科
- 情報工学科
- 建築学科
- 先進国際課程 (2020年9月開設)

◆ システム理工学部

学部長 渡部 英二

- 電子情報システム学科
- 機械制御システム学科
- 環境システム学科
- 生命科学科
- 数理科学科

◆ デザイン工学部

学部長 古屋 繁

- デザイン工学科

◆ 建築学部

学部長 堀越 英嗣

- 建築学科

芝浦キャンパス

〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14

豊洲キャンパス

〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5

大宮キャンパス

〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作307

芝浦工業大学大学院

◆ 理工学研究科

研究科長 高崎 明人

- 修士課程
  - 電気電子情報工学専攻
  - 機械工学専攻
  - システム理工学専攻
  - 国際理工学専攻
  - 地域環境システム専攻
  - 機能制御システム専攻
- 博士(後期)課程
  - 材料工学専攻
  - 応用化学専攻
  - 建設工学専攻

SIT総合研究所

所長 西川 宏之

◆ SIT総合研究所

- 脳科学・ライフテクノロジー寄附研究センター
- グリーンイノベーション研究センター
- グローバル建築技術研究センター
- アーバン・エコ・モビリティ研究センター
- 先進国際研究センター
- 社会システム科学研究センター
- サステナブル居住工学センター

芝浦工業大学附属中学高等学校

校長 大坪 隆明

〒135-8139 東京都江東区豊洲6-2-7

芝浦工業大学柏中学高等学校

校長 野村 春路

〒277-0033 千葉県柏市増尾700

学生・生徒数		教職員数		施設概要		
● 大学	7,467人	● 専任教員	大学	338人	● 大学・大学院	土地 202,850.94㎡
● 大学院	1,012人		附属中学校・高等学校	65人		建物 138,610.97㎡
● 附属中学校	489人		柏中学校・高等学校	77人	● 附属中学・高校	土地 14,499.03㎡
● 附属高等学校	639人	● 専任職員	大学	180人		建物 18,087.80㎡
● 柏中学校	581人		附属中学校・高等学校	4人	● 柏中学・高校	土地 52,739.68㎡
● 柏高等学校	893人		柏中学校・高等学校	3人		建物 15,816.72㎡





# 芝浦工業大学

芝浦工業大学は、建学の精神をグローバル化の現状に即して読み替え、「世界に学び、世界に貢献する理工学人材」を基本に据え、教育に取り組んでいます。



## 教育の特色

### Centennial SIT Action

芝浦工業大学は、100周年を迎える2027(令和9)年に、アジア工科大学のトップ10に入るという目標を設定しました。

世界のグローバル理工学大学に向かって進むために、大学として、次の5項目からなる取り組み課題を据え、Centennial SIT Actionとして宣言しました。

- 1 理工学教育日本一
- 2 知と地の創造拠点
- 3 グローバル理工学教育モデル校
- 4 ダイバーシティ推進先進校
- 5 教職協働トップランナー

### Centennial SIT Action

これら取り組みに対し、常に数値データ(KPI: Key Performance Indicator)をもって行程を管理し、PDCA(Plan-Do-Check-Act)サイクル展開による目標達成に臨みます。数値目標には、学生の学修時間数、日本人学生海外経験率、学生の英語力、外国人留学生比率、教員の年間論文数、企業等との受託・共同研究件数、女性教員比率、女子学生比率などを含んでいます。100周年には真のスーパーグローバル大学たることを目指して、「常に前進する文化の醸成」をモットーに教員と職員と学生が協働で前進していきます。

### Centennial SIT Action 100周年(2027年)の芝浦工大

## アジア工科大学トップ10



大学の使命 (University Mission) 世界に学び、世界に貢献するグローバル理工学人材の育成

## 大学認証評価



芝浦工業大学は(財)大学基準協会による大学相互評価ならびに認証評価受審の結果、大学基準に適合していると認定されました。

※「認証評価」とは、教育研究水準の向上に資するため、学校教育法第109条に定める、文部科学省の認証を受けた「認証評価機関」による評価を指し、すべての大学はこの評価を法令で定める期間ごとに受審することが義務付けられています。

認証期間：

2019(平成31)年4月1日～  
2026(令和8)年3月31日

## 学部教育をすべて英語で行う「先進国際課程」が2020年9月スタート

先進国際課程では世界の技術革新の進展や国際化の速さ、複数の理工学分野が融合した先端分野の形成など時代の変化に対応できる人材育成を目指して、これまで卒業研究のみ実施されてきた「研究プロジェクトを通じた能動的学習(Research Based Learning)」を、初年次から4年間を通して行います。入学時から指導教員(Supervisor)、異なる専門分野からなる複数のアドバイザー教員(Adviser)の指導のもと、さまざまな研究室で最先端の研究に取り組みます。

- 開講科目はすべて英語で提供し、学士(工学)の学位を授与
- 入学時から指導教員、アドバイザー教員のもとで最先端研究に取り組む「オーナーズプログラム」
- 異分野の領域も横断的に学修し、世界の技術革新の進展に応じた学際領域にも柔軟に対応



## 大学設備



### 豊洲キャンパス

TOYOSU

ビジネスと暮らしが融合する産業創造の拠点として注目のエリア「豊洲」。そのまちびらきの年となった2006(平成18)年に誕生したのが豊洲キャンパスです。あらゆる研究設備を備え、開放性を重視したキャンパスは、芝浦工業大学が推進する、地域とのコミュニケーションを通して知識と人間力を育てる実学の実践を支えており、工学部の3・4年生と建築学部生および大学院生が学んでいます。教育研究設備充実のため、2022(令和4)年4月利用開始を目指し、豊洲第二校舎建設工事を進めています。



### 大宮キャンパス

OMIYA

広大な敷地に緑があふれる大宮キャンパス。愛称となっている「グリーンキャンパス」は、学校法人芝浦工業大学が商標登録しています(商標登録第4584482号)。工学部およびデザイン工学部の1・2年生とシステム理工学部生および大学院生が学び、部活動やサークル活動の拠点にもなっています。2017(平成29)年3月には人工芝の総合グラウンドが、2019(平成31)年4月には第2グラウンドも完成しました。



### 芝浦キャンパス

SHIBAURA

2009(平成21)年4月にキャンパスを建て替え新たに開校した芝浦キャンパスは、法人本部があり、デザイン工学部の3・4年生および大学院生が学んでいます。今まさに再開発の進む芝浦エリアで刺激を受けながら学ぶことはもちろん、少し足を延ばして、東京を代表する街や施設で最先端の流行を肌で感じることもできます。

### 国際学生寮



グローバル人材の育成を目指す場として、大宮キャンパスに2013年オープン。

- ・鉄筋コンクリート造 地上5階建
- ・122室(全個室)
- ・外国人比率/日本人50% : 留学生50%

### 東大宮学生寮



2016年、人間力の育成を目的とした男子学生寮を大宮キャンパスの最寄駅であるJR東大宮駅近くに開設。

- ・鉄筋コンクリート造 地上5階建
- ・100室(全個室)
- ・食堂60席/朝夕食 事前予約制(月~金)

### 創立100周年プロジェクト

## 2022年4月開設予定「豊洲第二校舎」建設中

2022年4月開設予定で、豊洲キャンパス敷地内に「豊洲第二校舎(仮称)」を建設中です。創立100周年に向けて「アジア工科系大学トップ10」を目指し、英語で学部教育を行う先進国際課程の研究室設置、研究室の区切りをなくし研究意見交換が自由に行えるオープンラボの開設などにより、さらなるグローバル教育・大学院教育充実・研究力強化する計画です。

- ・鉄骨造(地下:鉄骨鉄筋コンクリート造、地上:鉄骨造)
- ・地上14階、地下1階建

豊洲第二校舎(仮称)の外観イメージ図



## 芝浦工業大学附属中学高等学校

2017(平成29)年4月、新豊洲エリアに建設された校舎に移転、開校した新豊洲校舎は、旧板橋校舎の約1.5倍の敷地面積と約2倍の延床面積に、最先端のICT教育設備と運動施設を備えています。大学の豊洲キャンパスから徒歩16分の距離にあり、他に例を見ない充実した中高連携教育が行われています。創立100周年を迎える2022年に向け、ますます教育を充実させていきます。



### 教育の特色

#### 理系教育・連携教育

中学生では「ものづくりマインドを育てる」という視点から、学年全員でものづくりを体験します。中学1年の「工学わくわく講座」ではバスタブリッジ、中学2年の「ロボット入門講座」ではビートル型ロボットを、そして中学3年の「ものづくり講座」ではいくつかのテーマに分かれて製作を行います。いずれも大学の教授の指導のもと、大学生の補助を受けながら大学のキャンパス内で実施されています。生徒たちはものづくりの楽しさを体験するだけでなく、芝浦ファミリーの一員であることも実感することになります。高校入学生向けの「Arts & Tech」というプログラムでは、ライトレーサーやスターリングエンジンなどの製作に挑戦します。さらに大学見学会、理系講座など充実したキャリア教育も、芝浦にしかない取り組みといえます。



Arts &amp; Tech

#### 言語・グローバル教育

中学男子が苦手なことばによるコミュニケーションを鍛えるため、中学1・2年次に「ランゲージアワー」という日本語運用の授業を通常教科とは別に実施しています。また上級学年では外部から専門講師を招いた「話し方講座」で、傾聴と表現手法を鍛えます。英語はネイティブスピーカー教員による対話中心の少人数クラスを展開。中学3年ではアメリカに2週間、高校入学生も2年次にカナダで1週間のホームステイを体験します。それにより本校生徒は全員が海外を体験して進学します。芝浦工業大学進学者はさらに3カ月のアメリカ短期留学やセブ島でのプログラミング&英会話研修に参加できます。これらは株式会社エスアイテックなどから資金的支援を受けたプログラムです。生徒は一歩進んだ海外経験を積み、大学生活や就職後もその成果を発揮することができます。



英語授業

## 芝浦工業大学柏中学高等学校

千葉県柏市の増尾城址公園に隣接した自然と緑に囲まれた田園地帯に立地しています。近年は校舎の整備が進み、県道側隣接地には第3グラウンドを造成。体育の授業やクラブ活動を行う第1グラウンドにはミストの噴出装置を埋設した最新の人工芝を導入し、2017(平成29)年度にはLED照明も設置するなど、学びの場の環境づくりに力を入れています。



### 教育の特色

#### 総合的な教養力と受験力の向上につながる教育

「創造性の開発と個性の発揮」という建学の精神の下、学力のみならず幅広い視野と教養を身につけた人間性豊かな生徒を育成すべく、さまざまな活動を織り込んだ教育を実践しています。また、全生徒に「自学自習」習慣を身につけさせる取り組みを推進しつつ、「SK学習ルーブリック(評価基準表)」も活用しながら自ら目標を立て、現状を冷静に見極めようと、目標達成に向け具体的な対応策を考えて行動に移すという、今後の自己実現に欠かせない能力の涵養にも努めています。2018年度からは文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール」(SSH)に再指定され、前回(2004年度から5年間)指定時以降継続的に進化・発展させてきた先進的な課題研究プログラムの更なる深化を目指しています。



中学運動会



SSH福島研修

#### 自己実現を支援するカリキュラムの骨子

##### ◆中高6年間の総体系

「ホップ」期(中学1・2年):入試成績優秀者を「グローバル・サイエンスクラス」に集めますが、全クラス国数英を中心に基礎学力を涵養し、学力の土台を根付かせます。

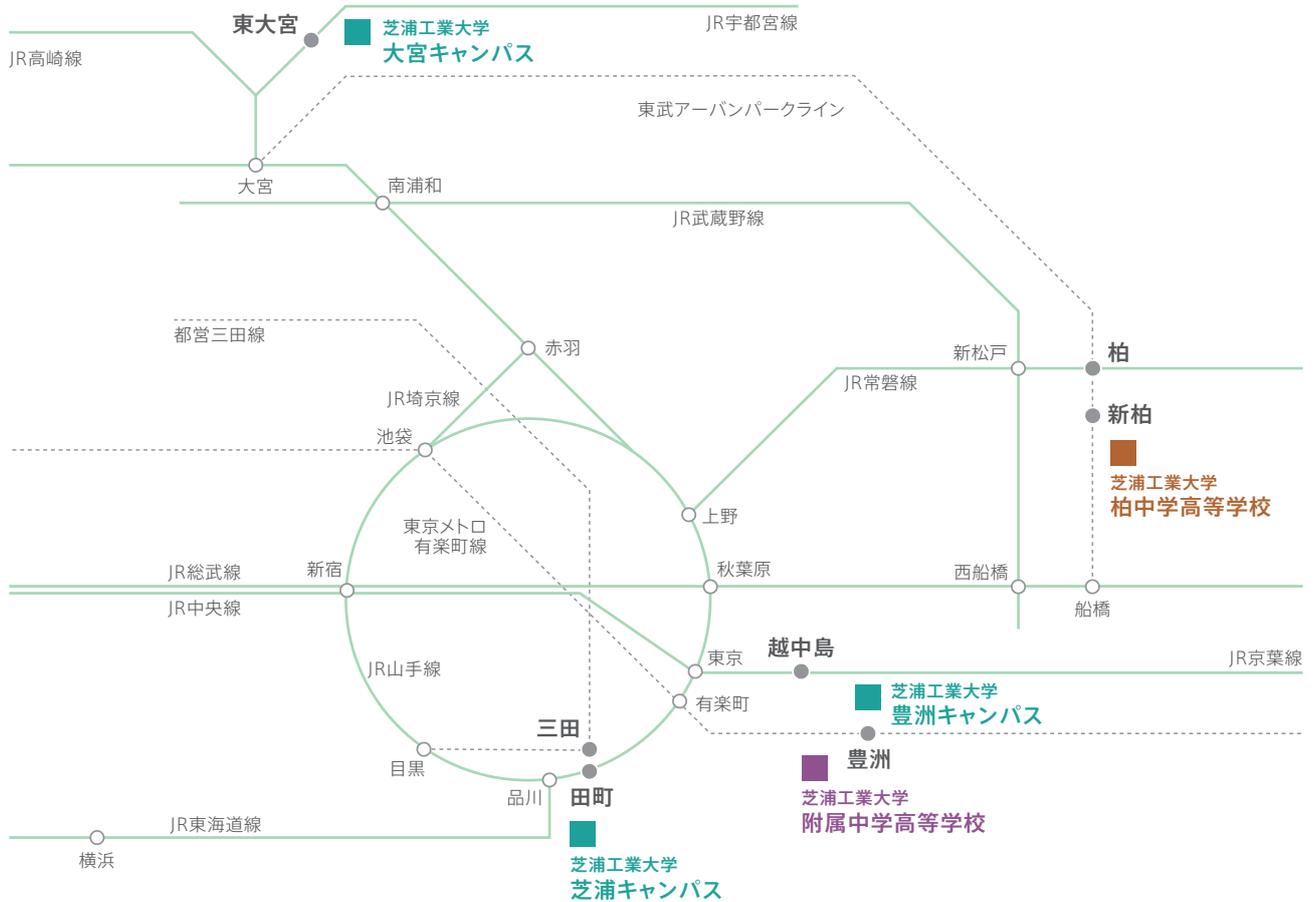
「ステップ期」(中学3年・高校1年):教育目標(サイエンス、アクティブラーニング、グローバル)の総仕上げを行う時期にあてます。なお、「グローバル・サイエンスクラス」はメンバーの入替を経て、最難関大を目指す生徒のためのクラスとして本格的に始動します。

「ジャンプ期」(高校2・3年):文理に分け、大学受験を真摯に意識させます。特に高校3年次においては、本校独自のカリキュラムの下、各自の受験科目に合わせた学習に取り組ませます。

##### ◆高校3年間の体系

併設中学校からの連絡進学生(中入生)と高校からの入学生(高入生)は、入学時点での国数英の進度に差があるため、1年次は原則的に別クラス編制となります。2年次に志望系に基づいたクラス編制としますが、一部科目では習熟度別授業を取り入れ、きめ細かな指導を行います。3年次には、各人各様の個別コース制ともいえるべき選択授業を少人数で展開し、進路目標の実現を図ります。

ACCESS



SHIBAURA



TOYOSU



OMIYA



SHIN-TOYOSU



KASHIWA

芝浦工業大学  
芝浦キャンパス

〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14  
Tel: 03-5859-7000 (代表)

JR山手線・京浜東北線「田町駅」芝浦口より徒歩3分  
都営地下鉄三田線・浅草線「三田駅」より徒歩5分

芝浦工業大学  
豊洲キャンパス

〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5  
Tel: 03-5859-7340 (代表)

東京メトロ有楽町線「豊洲駅」1cまたは3番出口より徒歩7分  
JR京葉線「越中島駅」2番出口より徒歩15分

芝浦工業大学  
大宮キャンパス

〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作307  
Tel: 048-683-2020 (代表)

JR宇都宮線(東北本線)「東大宮駅」よりスクールバス5分、  
または徒歩20分

芝浦工業大学  
附属中学高等学校

〒135-8139 東京都江東区豊洲6-2-7  
Tel: 03-3520-8501 (代表)

東京メトロ有楽町線「豊洲駅」より徒歩7分  
新交通ゆりかもめ「新豊洲駅」より徒歩1分

芝浦工業大学  
柏中学高等学校

〒277-0033 千葉県柏市増尾700  
Tel: 04-7174-3100 (代表)

東武アーバンパークライン「新柏駅」よりスクールバス5分、  
または徒歩25分  
JR常磐線「柏駅」よりスクールバス・東武バス15分